



押 仲

高橋町会長題字

挨拶



押上一丁目仲町会
町会長 高橋邦夫

春爛漫の素晴らしい季節になりました。町会の皆様におかれましてはますますご清栄の事とお喜び申し上げます。平素より町会の運営にご理解を賜り心よりお礼申し上げます。

一年が過ぎるのも早いもので今年も年度末を迎え各事業部役員の皆様には取りまとめの作業でお忙しい事と思っております。

春三月の卒業式として墨田中学が十九日、業平小学校が二十五日に行われました。当町会から卒業生もおります。心からお喜び申し上げます。さて、四月に入りますと六日から十五日まで「春の全国交通安全週間」が始まります。皆様にはくれぐれも交通事故に遭わぬようご注意ください。

「振り込み詐欺」についても新しい手口によるものが発生しておりますのでご注意ください。また「ひったくり」被害が発生しておりますのでご注意ください。消防署からは、「在宅用火災報知器」の設置をされるようお願いがあります。

いま建設中の新タワーも今年の秋頃には壮大な姿に変わっていくでしょう。今後町内周辺の工事とあわせトラックなどの工事車両が多くなりますので交通事故にあわぬようご注意ください。

押上一丁目仲町会広報部

編集責任者 五月女 稔

第四十号

平成二十一年三月三十一日

総務部

平成二十年度も最後になりましたが、町会内の皆様には大変お世話になりました。特に地区部長様には「回覧」等で、ご多忙の折、毎日の如くお願いし大変申し訳なく思いました。ご協力を頂き深く感謝申し上げます。来年度からは町会役員改選に当たり新しい地区部長様と改選される地区では「回覧板」「町会費の徴収」等の伝達と継承を宜しくお願い申し上げます。

交通部

今年も、四月六日より十五日までの十日間、春の全国交通安全運動が行われます。

運動の重点は、新入学児童等に対する交通ルールの理解とマナーの習慣付けが重要課題となるとともに、高齢社会への移行に伴う高齢者の交通事故情勢に的確に対処するため、「子供と高齢者の交通事故防止」を運動の基本とするほか、次の重点が定められています。

①全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底です。後部座席を含む全席でシートベルト着用が義務付けられています。六歳未満のお子さんには、チャイルドシートの着用をお願いします。

②自転車の安全利用の推進です。自転車通行が可能な歩道を通る時は歩行者側には妨害してはいけません。また、夜間に自転車に乗る場合でも反射材などを身につける事

で事故を防ぐことが出来ます。

③飲酒運転の根絶です。毎年、痛ましい事故が絶えません。飲酒運転は犯罪です。特に昨年の六月、道路交通法の改正で酔っ払い運転は「免許取り消し」になります。

以上の点をご理解いただいた上で、力を入れて行きますので、皆様のご協力、よろしくお願い致します。また、区民交通傷害保険の申し込み(三十八世帯九十一名)ご協力ありがとうございます。書面にて御礼申し上げます。

婦人会

いつも廃品回収にご協力いただきありがとうございます。

今後ともよろしくお願い申し上げます。また、五、六月頃には、日帰り旅行も計画したいと思っておりますので、ご希望等ありましたら、どんどんお知らせください。決定次第ご通知申し上げますので、その節には、皆様の多数のご参加を心からお待ちしております。

O S T

桜の花が咲き始めて、四月の新年度がやってきます。

皆様気候が寒かったり暖かだったり御身体お元気ですか。OSTでは三月二十二日に誕生会があり十七名出席で楽しく時を過ごしました。

四月二十日には墨田区老人クラブの連合会のハイキングがあります。市貝町芝さくら公園と鬼怒川温泉「あさや」で和食会席があり二十名参加です。お天気が晴れるとい、なあと思っています。五月二十四日には総会があ

ります。事業報告並びに会計報告等聞いて戴いて、その後お弁当や飲み物おつまみなど出ますので楽しんでください。その後二時から四月五月生まれの方の誕生会を致します。おやつも出ますし誕生会の方には植木鉢が御座います。何の花が来るか楽しみです。日曜日なのでぜひ一人でも多く御出席して下さい様お待ち申し上げます。

新吹会

親父たちの一泊旅行

毎年恒例の一泊旅行を実施いたしました。今回は、おおるりグループとは異なりホテルニューフジヤグ

ループの鬼怒川温泉「万葉亭」に行きました。参加者が親父ばかりで九名なので、ワンボックスカー二台に分乗して、押上を出発です。地元の「東京スカイツリー」の建設現場を横目で見ながら、首都高向島ランプ、東北自動車道(途中、佐野SAで休憩)日光宇都宮道路・今市ICで高速道路を下りて一般県道で鬼怒川温泉へ、そのままチェックインには時間的に早いので「万葉亭」の駐車場に駐車させて昼食を行きつけの「お寿司や」さんまで徒歩で行くことになり、約三キロの行程を途中あまりにも空腹で目的地を変更してホテルニュー岡部のランチバイキングに立ち寄ることになりました。参加者の加齢的肉体能力の限界で歩行困難とアルコール要求が重なり(途中、コンビニでアルコールを補給しながら歩行していた仲間もいた)ごく簡単に昼食目的の変更がなされました。時間も午後一時三十分を過ぎたところでランチバイキングもラストオーダーで入場したところでおいしい物品が残ものり少なく辛うじて残り物に福ありで

押上地区の変貌

京成橋から見たタワーの組み立てクレーン。このクレーンによって九月頃には約二百メートルの高さまで組み上がります。



メンバー全員が腹一杯いただきました。ほろ酔い気分徒歩にて「万葉亭」に向かいそのままチェックインして、あらかじめ決めていた部屋にカーメ

ンバー同士で入居した。早速、浴衣に着替えて浴場へ、ホテルの建物は、本館(九階建の新館)と民芸館(七階建の旧館)客室数が九十一室、収容人員が三百名の規模です。風呂は、本館側地下一階に「万葉の湯」「漁火屋形船風呂」「五右衛門風呂」「サウナ風呂」と民芸館側一階に「大江戸屋敷風呂」「総檜風呂」「泡風呂」「観音石庭露天風呂」「虹見の滝風呂」があり、夜は本館側が男性用、民芸館側が女性用で夜中の0時で入れ違いになるシステムです。

今回の一泊旅行は、何の変哲もなく非常に楽しい旅行会でした。

【秩父札所めぐり2】

石田輝雄

そろそろ桜便りも聞かれる頃になった。昨秋から始めた秩父札所めぐり、暖かさに誘われて出かける事にした。押上発七時二十八分の地下鉄に乗る。池袋迄の交通機関や時間を考えて今日は東日本橋で下車。馬喰横山から都営新宿線に乗り換えて小川町下車。地下通路から営団地下鉄丸の内線淡路町のホームへ、丸の内線で池袋へ出る事にした。七時四十六分発。お茶ノ水で神田川に架る鉄橋を渡る。やがて後楽園駅。東京ドームを望む。茗荷谷から新大塚、此の間は地上でありトンネルに慣れた人にとっても何か地上の風景はひとしお良いものである。池袋に八時六分着。エスカレーターで上る。随分深い所を走っているのだと実感する。乗車券他を求めて特急電車発着ホームへ。それにしても到着した電車から降りてくる人達の何とも多い事よ。さてレットアロー号ちぢ五号の客となる。窓も広々として気持が良い。西武秩父行八時三十分の発車だ。一時間三十分余りで秩父到着。バス停に急ぐ。今日は定峰行のバスに乗るのだ。十時五分の発車二十数分で語歌橋着下車。道を右に入る。約十分程歩くと左側に五番寺、長興寺の観音堂。之が通称語歌堂とも呼ばれる（江戸末期建築の由）観音堂の前には小さな仁王門。手を合わせてから長興寺へ、少し歩くと赤い屋根の本堂。朱印して頂く。（臨済宗）小川山長興寺。御本尊は准胝観世音菩薩。時計を見たなら十時四十五分。さあ之から六番寺ト雲寺へ向う事にする。この辺りは横瀬町。六番寺への近道と道標があったので田舎道を右に折れて進む。道はだんだんに上り坂となり右眼下の民家の停いが仲々の眺めである。町営グラウンドの側を通り

漸く坂道が終った。此の辺りから右に行く訳けなのだが何と通交止になっていく。トラック等も停っている。ヘルメットを被った工事の人に通交の可否と六番寺の位置を聞いてみる。何とも親切な人で交通も可。そして六番寺や七番寺の方向を指さして教えてくれた。有難う。坂道を下ると整地された住宅街へ出た。然し寺らしい建物が目に入らない。近くに居た御婦人に聞いてみた。やはり少し道を間違えた様だ。教えられた通り進むと左手に石灯笼と日本霊場秩父甫陀所第六番萩野堂と刻んだ石柱があった。其処から小道を左に上る前方に一見民家風の銅葺屋根が見えた。六番札所のト雲寺だ。周囲の景観も仲々。この寺の御本尊聖観世音菩薩は三十六センチの立像で行基菩薩の作と伝えられている由。当初は武甲山頂の蔵王権現社に安置されていたが其の後蕨沢（とか池）と言う小堂に安置された。とか池には萩が多く繁り静寂な地を好んで禅僧が多くおとづれ修行地とした。ある時修行に励んで居た僧が「初秋に風吹き結ぶ萩野堂宿かりの世の夢で目覚めける」との詠歌を耳にした。松風の音か せせらぎか と疑ったものの詠歌の一節である事がわかり僧は開悟し、此処に堂宇を建て萩野堂と名付けた。その後宝暦十年（一七六〇年）現在の地へ移された、と（曹洞宗）向陽山ト雲寺。時刻は十一時三十五分。普通順路だと七番寺から六番寺が良いとの事だが何れにしても少々道を間違へたので逆に之から七番へ向かう訳け。石柱のある道路迄戻り右へ歩く。十分程したら銅葺の屋根が見えた。山門をくぐった正面が本堂。間口十間奥行八間の堂々たる建物。御本尊は天明二年（一七八二年）の火災で観音堂が焼失して以来この本堂に安置されているとの事。本堂左手に牛伏の石像がある。ある時牧童が草を

刈っている時一頭の牛が現れ地に伏して動かなくなり、牧童はそれを見守って一夜をあかすと。夜明頃僧が見へ「私は観音の化身だが 此処に草堂を結めば此の世の罪障をなくそう」と言った。牧童が草の中を探してみたら十一面観音があらわれたので草庵に安置し供養した。其の為牛伏と言われる様になったと言われている。（曹洞宗）青苔山法長寺御本尊は十一面観世音菩薩<牛伏堂>朱印も頂戴した。扱て之から八番寺に行くか九番寺か 略図を見ると九番寺の方が近そうだから先に行く事しよう。法長寺を出て真直ぐ行くと大通りへ出た。国道二九九号線だ。今迄は田舎道でのんびり話し乍ら歩いてきたのだが何と騒々しい事。特にダンプカーの往来が激しい。歩道は無いので気が気では無い。やがて横瀬橋を渡り直進。右手の横瀬公民館を見たら少し進み国道を左折して上る。しばらくして右手角に観音堂が見えてきた。九番寺明智寺だ。広い境内の右が観音堂。寺名の由来については建久二年（一一九二年）明智禪師が到来して堂宇を建立し恵心僧都の彫刻した如意輪観世音を安置した事から明智堂と呼ぶ様になったと。今の観音堂は明治十六年の落雷で焼失した後建てられたが近年関係者が再建を發願し平成二年に新築されたもの。境内の右角に三基の青石塔婆（秩父青石）がある。この青石塔婆は関東に分布するが、荒川の流域から産出する為に特に武蔵野から秩父にかけて多いと言われている。石質は「緑泥片石」と言われる。緑色の多少鱗片状をした緑泥石を主成分とする結晶片石で適当な厚さに切つて彫刻を施すのだ。此処に在る三基は小型で室町時代のものであろうと言う。（臨済宗）明星山明智寺。御本尊は如意輪観世音菩薩。昼はとうに過ぎていくが此の境内では

食事は一寸無理かな。七番寺法長寺の境内で頂こう、再び法長寺に戻る事にした。食事をさせて頂きます。石造りの腰掛に掛けて、扱て携帯コンロで湯を沸かそうと思つたが意外に風が強いので止めにした。ウイスキーの水割を少しく作つて食前酒に、それにしても此の様な時に喰べるムスビはどうしてこんなに美味しいのだろうか？ もう一度本堂に手を合わせて、さあ八番寺へ急ごう。時刻は十三時二十分だ。遠回りになるが騒々しい国道を避けて田舎道を歩く事にした。暫らく進んで道なりに右折西武秩父線のガードを潜る。四百メートル程行くと八番寺の山門。坂を登ると庫裡と本堂。境内は清められてあり塵一つ無い。本堂は文化七年（一八一〇年）火災で焼失し、弘化二年（一八四〇年）頃の再建と推測されているとか、間口七間奥行六間銅葺の寄棟に唐破風の向拝本堂の前に天然記念物ミネモミジが見事だ。樹齢五百年。高さ九メートル。横枝が東西に十八メートル、南北に十六メートルもあると言う。御本尊は恵心僧都の作と言われ開基は某旅人で、開山は臨済宗円福寺の三世竹印和尚（寛政五年寂）と言われていると（臨済宗南禅寺派）清忞山西善寺。御本尊は十一面観世音菩薩。時計は十四時を過ぎている。五寺を歩いてお参りしたので今日は之で切り上げるとしよう。一応西武秩父線のゲートを潜りバス道路へ出てバス停の時刻表を見る。何と朝夕の通勤時間帯だけで昼間の運行は一本も無し。仕方無いので再びガードを潜り畑仕事をしている人に横瀬駅の方角を聞く「鉄道の土手に添つて真直ぐに行く」と言われ「さあ歩け歩け、途中右にガードを潜り左へ直進。漸く駅舎らしい建物がポツリと見えてきた。十四時五十分になっている。駅員に聞くと今度の電車は十五時五分との事。一息入れよう自販機でウーロン茶を求め少憩後ホームで電車を待つ。ほん

の僅かな時間で秩父駅着。下車してとりあえず帰りの乗車券等を求めてから駅前の土産物店街を散策する。看板に秩父仲見世と記してある。此の辺りは店もあまり見当たらないので之からは一層活気づくであろうし、観光客も喜ぶのではあるまいかと思つた。

【しらとり子供会】

歩きなれた道の小さな花々が目に止まる今日この頃：：
町会の皆様には、日ごろよりご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。子供会は、中学生一名、小学生二名が卒業します。

「卒業おめでとうございます」
そして、これから入学進級される皆様におかれましては希望の季節の始まりです。気分をリフレッシュして、新しい学年を気持ち良く迎えて下さい。

小さな小さな子供会は、五名の元気な小学生たちを中心に、子供会の活動を盛り上げてまいります。

町会の皆様のさらなるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【町会総会のお知らせ】

仲町会の総会が五月中旬頃に予定されています。
詳細は別途お知らせいたします。

【編集後記】

天候の影響なのか今年の桜は長く咲いていて、随分楽しめそうだ。そよ風に花びらが舞って、気持ちが良い。とりあえず世の中の内やな事は忘れて、今年もこの瞬間を満喫出来た事に感謝。新タワーも竹の子のように芽を出した事だし、何か良い事ありような期待を持った新年度になりそうだ。